



## 喜多 塾

### 〜 柚子湯 (ゆず) 〜

寒さも段々と本格的になり、今月二十二日には**冬至**を迎えます。冬至は一年のうちでもっとも日照時間が少なく、文字通り冬の至りですが、この時期になると**柑橘類が鮮やかに色づき**、街中では蜜柑などがよく目に付くようになります。しかし古来より冬至といえは何をおいてもまず「**柚子湯**」が有名です。

柚子は**ビタミンC**や**リモネン**が極めて豊富で、また香りも良い事から、古来よりこの柚子湯に入ると、**新陳代謝を活発**にして血行を促進し、**鎮痛・殺菌作用**もあるので、体が温まり、**風邪も治ると**いわれています。

しかし、**ビタミンC**や**リモネン**の作用を期待するのであれば、柚子湯は別に冬至に限らなくても良さそうなものですが、これには理由があつて、**冬至の読みである「とうじ」と、湯治(とうじ)**をかけている訳です。また柚子も「**融通**」とかけて、「**融通(柚子)**が**効くように**」という一種の願掛けから柚子が使われるようになったようです。

しかし、願掛けにしろ何にしろ、柚子湯の効能は確かなものですので、この冬至には是非ともご家庭でも**柚子湯で温まり**、**家族の暖かみを共に**されてはいかがでしょう。

さて、この柚子湯ですが、柚子はそのままでも成分がお湯に溶け出しますので、切つて入れると**肌の弱い方には刺激が強すぎる場合**があります。そういった方は、そのまま丸ごとお風呂に入れた方が良いでしょう。

### 〜 初詣の案内 〜

当神社では今年も例年通り御本社、御旅所ともに一月一日は午前零時より開門いたします。また、新しいお守り、御札などの授与も午前零時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、来年一年間の無病息災を併せて初詣にどうぞお参り下さい。

### 〜 古い御札、御守りについて 〜

御札や御守はその年のはじめに氏神さまから頂き、一年間お祀りした後、年末などに神社にお返しするのが一般的で、多くは**大晦日に古い御札をお返し**され、そのまま**初詣の時に新しい御札をお受け**になられる方が多いようです。

その御札、御守ですが、今年の秋に授与されたものも、**新年になったら変えなければならぬ**かというご質問を時々頂きます。この場合は、このままもう一年お持ち頂き、**次の年のお正月に新しい御守をお受け**されると良いでしょう。また一年の半分である六月頃に授与されたという場合であれば、それからの半年間の間に**悪い事があつた**のならば、**災い除けの意味も込めてお正月に新たに**お受けし、**良い事があつた**場合はそのままお持ち頂かれても結構です。

#### 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク  
AU、モバイルPC対応



編著 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

